

がん検診に関する課題等について

平成27年2月5日
厚生労働省健康局
がん対策・健康増進課

がん検診に係る当面の議論すべき課題

1 検診全般における課題

○対象者について

1) 年齢に関わる受診率の算定方法が、関連する以下2つの調査報告で一致していない

※国民生活基礎調査：職域を含むがん検診全般の受診率等

地域保健・健康増進事業報告：市町村がん検診の受診率等

2) 受診対象者や受診勧奨の対象者の範囲が必ずしも明らかではない

2 検診項目における課題

○胃がん検診、乳がん検診については、現在検討中

○子宮頸がん検診における体がん検診の位置付けが分かりにくいとの指摘がある

3 市区町村のがん検診における課題

○市区町村のがん検診の実施状況（検診項目、受診間隔、実施体制、費用等）が十分に把握できていない

※過去、市区町村におけるがん検診の実施状況について、一定の調査は実施

【参考】H25年市区町村におけるがん検診の実施状況調査項目について(抜粋)

○実施体制及び受診勧奨等について

- 問1 がん検診の対象者を網羅的に把握しているか。
- 問2 対象者個人毎に受診状況や結果等を把握し、台帳やデータベースに入力しているか。
- 問3 精密検査の受診状況の把握方法について。
- 問4 事業所や被用者保険の保険者で実施されるがん検診の受診状況を把握しているか。
- 問5 平成23年度までのがん検診の受診率を自治体の広報誌やホームページで住民向けに公表しているか。
- 問6 平成24年度の市区町村としての主な受診率(目標に掲げる受診率等)をどの年代で算出する予定か。
- 問7 受診勧奨や受診の際に、検診の不利益(偽陽性、偽陰性、偶発症等)について個人が閲覧する書面(説明書や同意書等)や口頭で説明しているか。

○胃がん検診について

- 問1 胃がん検診実施の有無について該当する項目について。
- 問2 問1で「実施している」を選択した場合、実施している検診について。
- 問3 問1で「実施していない」を選択した場合、その理由について。
- 問4 対象年齢について該当する項目について。
- 問5 受診間隔について該当する項目について。
- 問6 受診時の費用負担(個人負担)額について集団・個別毎に該当する項目について。

今後の検討スケジュールについて

平成27年2月5日 第11回がん検診のあり方に関する検討会

(市町村がん検診実態調査を必要に応じて実施)

3月以降(適宜開催) がん検診のあり方に関する検討会

- ・乳がん検診に関する知見について
 - 精度管理、超音波検査など
- ・胃がん予防・検診に関する知見等について
 - 胃内視鏡検査、ヘリコバクター・ピロリ抗体検査など
- ・がん検診に関する課題の整理

8月目途 乳がん検診、胃がん検診等についての報告書(とりまとめ)



「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」改正へ